

「出会いは人を変え、人生を変える」

校長だより

「我が子を入れたくなる学校をつくりたい」(初代校長)

平成30年8月3日(金)

第11号

那覇西高等学校長 長濱 雅仁

「いつも太陽の光に顔を向けていれば、影を見ることはありません」－ヘレンケラー－

”Once we share goals, we are all brothers and sisters!”

過去の自分を恥ずかしいと思うのは、いまの自分が成長した証です。(前に進む勇気を！)

台風(12号)、船出控える 日本丸

船長はスマホ片手に「まず一献」

連日、台風12号の迷走に全国各地が振り回された今年の夏でした。まさか関東・東海に上陸した12号が九州まで降りてくるとは、誰が予想したでしょうか。政治、教育界、スポーツ界の愚行に台風までも迷走しているような気がしてなりません。そのような中、私達一人ひとりが、明日の未来に関心を持ち続けていきたいものです。「この沖縄で、この日本に生まれて良かった！」そう思える日が訪れますように……。合掌！（祝：世界空手大会大成功。日本バドミントン男女世界一）

◇学校行事、大会結果、イベント等

- ・サッカー部、ハンドボール部(男女)、バドミントン部が強化合宿を計画・実施中です。サーターアングイー色の肌が全てを語っています。ウリハートーデーナトン！
- ・夏季休暇期間に学級出校日で登校している生徒の皆さん、「水かけ、清掃」作業等ご苦労様です！
- ・全国高校総体に出場する水球部・陸上部・男女ソフトテニス部・柔道部の皆さん、県代表、九州代表として頑張ってください。

●校内外の小さな変化・成果に皆さん、気がつきましたか？

- ・夏季休業中に登校し、連日「進路・夢実現」に向けて図書館、視聴覚教室、進路学習室、職員室、学年室等で先生方と学習している生徒の皆さんご苦労様です！また、その「学びたい生徒と教えた教師の一对」の光景はすばらごーです。先生方にも感謝ですね。(ありがじゅう20：ありがと10)の強調形)
- ・8月2日(木)ALTのキャンディス先生に代わり、オーストラリアからエマ先生が来校しました。校長先生よりも背が高く、大学を卒業したばかりの22歳だそうです。スマイルがすばらごー!これまでお世話になったキャンディス先生にも時間があったら感謝のはがきを書いてみてください。きっと感激することと思います。お互いに「一期一会」を大切にしてほしいと思います。なお、ハワイの住所は国際人文科主任の神里先生に聞いてみてください。

回想録(近過去)

宮平祐吉校長先生叙勲受賞祝賀会

7月21日(土)かりゆし7-パビリオン那覇で宮平祐吉先生の叙勲祝賀会が開催され、多くの小中高PTA役員、元職場同僚、教育関係者が参加されました。先生は元小学校の校長先生で、現在、私的教育団体「教育を語る会(今年で創立30年)」の会長をなされている方です。驚愕したのは、最後の締めあいさつが何と45分間だったことです。38年の教職生活を振り返る趣旨であり、当然長くなるとは予想しましたがまさかの45分とは……。幕開けと余興には、本校講師の仲本政博先生(空手古武道)と前講師の島袋君子先生ご夫妻がご出演されました。(お二人は本県の無形文化財保持者です)

宮平先生のお話で印象に残ったのは、以前、大先輩である仲里政幸氏(前教育を語る会会長)から、「手の指は5本ある。それぞれ指の長さが違うように個性も違う。会社も組織もその人の持ち味をいかさなければならぬ」と諭された話や瀬名波栄喜氏(元名桜大学教授)から「地元を大切することこそグローバル人材育成の原点」旨の話を聞いたことを熱く語られていたことです。孫8人も舞台上がり、祝福の言葉を純粋に自分の言葉で話していました。結びに、氏は、「中途半端に出る杭は打たれる。思いっきり出た杭は打たれることはない。」と人一倍努力することの大切さを強調されていました。(周りの評価に振り回されず、目の前のことを主体的に精一杯取り組み、自分の人生を生きること)

指導者の心に火が灯らなければ、選手のコに火は灯らない。(能代工高バスケ元監督 加藤廣志氏)